



転勤などで外部から来た方が積極的になってますんで、もうちょっと地元の方も積極性をもってもらえるといいなと。それに、今は昔と逆に、若いお母さんたちが子供をみてるようですから、私たち核家族と同じなように思うんです。ですから子供を外へ出して遊ばせるっていう場がないと、親子だけで家の中にいる時間が多くなりますので、ストレスもたまると思います。そういうことも考えて、場所を作っていたらどんどん積極的に出出になられると思うんですね。

佐藤 秋田市の方に児童会館っていうのがあったんですけど、月曜日以外はいつでも開放してらるんですね。結構広くて。子供たちがそこで遊んでいれば親同士も自然と話し合えて、そこからだんだん輪が広がりますから、いいなあと思っただです。

大野 幼稚園入っちゃえば、子供はある程度エネルギーを発散できるんですけど、それまで、特に越して来たものにとつたら、本当に母親と子供っていうのはすごく寂しいんですよ。外での会話もなくて。だから週に一度でもいつもやってくる所があるのを知ってたらね。

柳田 ここ(中央公民館)の児童室ですか、たまに遊びに来るんですけど、せっかくあるのにもあんなに使われてないですよ。もったいないな、なんか。

市長 四六時中開けてますから、いつでも子供連れていらしてくださいってね。何もないけど暖房きいてますし走り回るにはいい場所ですから、何歳までとかいませんからどうぞ、ただし保護者の方は必ず一緒にと。それだけでいいわけですよ。さて、働く男性軍はどうですか

山崎 大館市民への要望ということでしたけども、市役所へ行って、人との対応ですか、全ての人がそうじゃないですけど、知ってる人にはとつても親切にしてくれて、知らない人には結構つっけんどんじゃないかなという気がして。言葉悪いですけど、田舎根性というんですか。もうちょっと外を見つめてほしい、外から来た人にももう少し温かく対応してほしいなと、たまに感じる時がありますね。

鈴木 集落ごとなんかで強い意識があるのはいいことなんですけど、自分たちは新しく来ましたよって名札着けて歩いてるわけじゃないです、これから外から来る人も多いでしょうから、大館が大きくなるには、そういう取り除いてもっと都市的な匿名性みたいな

ていくことしか知らなかったから、びっくりしたというか感動したというか。うちの子供は得な出来事を体験できるんだなと思いました。自然に触れて、自分の目で見られるというのにはすごく貴重だと思うんです。そういうのって街に住んでる人って分かりませんよね。

――皆さんも市民でですけど、あえて大館人に望むことといたらどんなことでしょうか

柳田 子供にも関連することなんですけれど、今、私知り合いに誘われて新婦人の会の親子リズムっていう、親子一緒に手遊びしたり体操したりするのに入ってるんです。地元の方で同じように小さい子を育ててる方いらっしやると思うんですけど、地元の方が少なくて

結核広くて。子供たちがそこで遊んでいれば親同士も自然と話し合えて、そこからだんだん輪が広がりますから、いいなあと思っただです。

大野 幼稚園入っちゃえば、子供はある程度エネルギーを発散できるんですけど、それまで、特に越して来たものにとつたら、本当に母親と子供っていうのはすごく寂しいんですよ。外での会話もなくて。だから週に一度でもいつもやってくる所があるのを知ってたらね。

柳田 ここ(中央公民館)の児童室ですか、たまに遊びに来るんですけど、せっかくあるのにもあんなに使われてないですよ。もったいないな、なんか。

市長 四六時中開けてますから、いつでも子供連れていらしてくださいってね。何もないけど暖房きいてますし走り回るにはいい場所ですから、何歳までとかいませんからどうぞ、ただし保護者の方は必ず一緒にと。それだけでいいわけですよ。さて、働く男性軍はどうですか

の必要じゃないかと思えます。本当に一人ひとりどこそこのだれて屋号ついてるみたいな感じで言われるんですよ。(笑)

――最後に今年の抱負をお聞かせください

鈴木 大館の人は、県外でも近くに大きな街があるっていうことで、弘前とかへ出かけることが多いんですけど、ここへ来た自分とすれば、大館のことをもっと知るようになる所へ出かけたかと思えます。

山崎 仕事も落ち着いて、子供も慣れてきたんで、今度は大館の知らない所を発見してみたいです。あとは、人と人とのコミュニケーションを大切に、自分のやりたいことも大事にしていきたいですね。

大野 せっかくこういう自然の多い所へ来れたんですから、子供がね、自分が小さい時にあんなことしたこんなことしたっていう思い出がたくさんできるように、残せるようにしてあげたいなと思えます。

佐藤 近くにある鳳凰山、ここへ来てあの大字がすごく素敵だったんです。上の子が頂上まで登ったんですね。そしたらお母さんにはムリ、あの山は絶対ムリだって言うんですけど、だから今年はきつと登ってみたいと思います。

柳田 去年は八月の大文字焼きを見られなかったんです。実家へ帰っていて。今年はぜひ見てみたいということと、いろいろ大館を歩いて、友達にも伝えてあげたいなと思えます。

市長 今日皆さんからいろいろ伺って、大館に今後必要なのはどんなことかというヒントを与えられた気がします。皆さんが不便と感じたことを、目立たず、しつくり段取りするのが行政の役目だと思っています。これからも楽しく暮らしていただけるよう、がんばることをお約束して座談会を終わらせていただきます。ありがとうございました。